

# 第 152 回みよしグリーンサポート隊

1. 日時：2024 年 12 月 15 日（日）
2. 場所：D、E 地区 1.12h a
3. 参加者：27 名

## ○刈込隊活動

令和 6 年 1 2 月 1 1 日（水） 4 名

来月の落ち葉掃きに備えて、会場となる D、E 地区の下草は完全に刈込が終わっています。他の地区も刈込は終わっていて、寒い時期なので草の成長もないことから、本日は刈込作業はやめて、活動地域全体の安全確認を実施しました。E 地区は、しばらく定例活動を実施してなかったのので、林内に落下した枝が沢山ありました。中には長い枝もあり、定例活動時には切断して搬出することになります。落ち葉掃きの会場となる D 地区は度々整備活動を実施しましたが、最近の強風で細かい枝が落下していました。前回から観察を続けている根元から折れた木は特に変化が見られないことから、次回定例活動日に伐倒することで方法を検討することにしました。D 地区は他の地区に比べ落ち葉が少なく感じました。C 地区は、枝の落下は少しありましたが、落ち葉が沢山積みあがっている感じで歩くとフカフカしました。B 地区はほかの地区よりは少し草が残っていましたが、問題なる高さではありません。A 地区は、枝拾を実施していないことから林内には長い枝も含め沢山の枝があります。全体的には安全（特に散策路近く）に問題が見受けられる箇所はありませんでした。少し葉が落ちた段階でそれぞれの樹木の上部を観察すると上部の枝が枯れている木が多くみられました。根元から折れた木の例からは根元周りの観察の重要性、上方の枝からは枯れて落下する危険予知をしっかりと検知することが重要だとわかりました。ムクドリやメジロが沢山飛び交っていました。

12 月 25 日（水）の刈込隊活動は、既に刈込が全域で終わっていることから取りやめにしました。

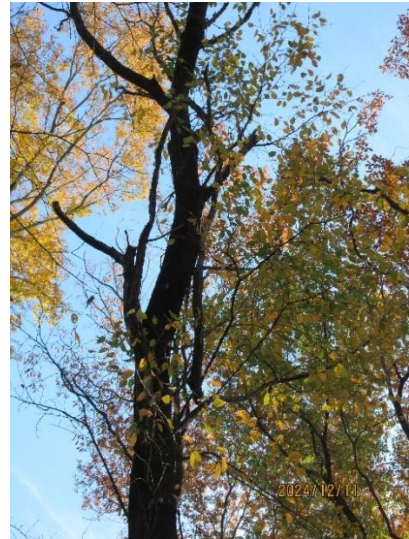


12 月に入っていますが、枝には未だ緑色の葉が沢山ついています。イロハモミジなどの紅葉も半分くらいです。地球温暖化の影響でしょうか。



以前枯れて倒れ、伐採したヤマサクラの根元から新しい枝が伸びてきています。これも萌芽更新でしょうか。

樹木の上部の枯れ枝の状況を確認しています。葉がついているとなかなか気が付きません。上の方の枝が枯れています。



### ○定例活動日

令和6年12月15日（日）

今年最後の活動日。多くの参加がありました。最初に当面の予定について説明しました。1月の落ち葉掃き、2月15日（土）に計画している町主催の「自然体験教室」、これには支援協力をお願いをしました。3月は植樹を計画していること。時期は決めていませんが、3月までにシイタケの栽培にチャレンジすることで種菌の打ち込み作業を実施することなど。今月の定例活動は2月に予定している自然体験教室に落ち葉掃き会場となるE地区の落下している枝の収集・搬出作業です。長い枝は切断します。この地区は落ち葉も多くフカフカしています。2月までには落ち葉が十分に積み上がるのではないかと考えています。今から子どもたちの顔が浮かびます。本日は参加者が多かったこともあり、予定より早くE地区の作業は終了しましたので、メイン会場であるD地区も確認のために皆さんで見てもらい、取残した細い枝も再度収集してもらいました。一時強風が吹いた日もあったので、予想よりは沢山の枝を集めてもらいました。



いつもの作業前の準備体操です。



枝、収集作業です。



林全域で枝収集しています。右は枝を50センチ以下に切断しています。  
皆さん落葉の下までよく見てくれて細い枝を集めてくれました。



根元から折れた木が隣の木にもたれかかっています。根元の状態です。白く腐っています。



2方向にワイヤーで引っ張るように近くの丈夫な木に背通しているところです。



チェーンソーなどを使わないでうまく伐倒できたのですが、隣の木にもたれてしまったので再度ワイヤーで牽引しました。経験豊富な方の指導で危険も回避しながら、無事に倒すことができました。



倒した後の木の根元です、中心部が白くコルクのようにフアフアしていました。外見からでは想像がつかない実態でした。今後林内を巡視するときは十分注意が必要です。後処理で玉切しました。



本日収集した枝です。2トントラックで積み残しとなりました。皆さんの作業の成果です。

これでいつでも落ち葉掃きができるほどきれいになりました。